

市民講演会「自分らしい人生のために人生会議をはじめよう ～きっかけとしての老い支度ノート～」の開催について

人生会議とは、最期まで自分らしく生きるために、大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、信頼する人たちと話し合うことをいいます。講演会では、人生会議の必要性や、そのきっかけとしての「老い支度ノート」を紹介します。

記

1. 日時

令和7年12月13日（土）14時00分～16時00分

2. 場所

中総合会館 4階 ホール（舞鶴市余部下1167）

3. 定員

先着200名

4. 申込

不要

5. 内容

- ・講演「逝くという自然に向き合う」

講師 おかやま在宅クリニック 院長 岡山 容子 先生

座長 市立舞鶴市民病院 院長 重見 研司 先生

- ・老い支度ノートの紹介

舞鶴市役所高齢者支援課 保健師

6. 講師プロフィール

岡山 容子 先生（おかやま在宅クリニック 院長）

- ・1996年 京都府立医科大学卒業
- ・2015年 京都市中京区に在宅療養支援診療所「おかやま在宅クリニック」開業
- ・2020年 僧侶資格を取得

麻酔科医として手術麻酔、集中治療業務に従事し、その後ホスピスでの研修を経て在宅医療に転向。自宅での療養生活において東洋医学と西洋医学を併用し、漢方療法と認知症治療に力を入れておられ、人生の最終段階の時期を見る医師として、地域での在宅医療をサポートされています。

